

(第一紙) T12p230b23~

- 1 則庠¹審深心勇捷²腰如弓弮背骨平直兩脰³
- 2 洪滿如芭蕉樹善知天法髭鬢短⁴細天香甚
- 3 香爪⁵甲赤薄身体香潔无⁶主莊嚴取以嚴身
- 4 天无⁷病苦身有善香着妙天衣色相殊妙天
- 5 華嚴身於宮殿中次第漸行彼処見有无⁸主
- 6 天女見天童子一切悉來圍遶而住作如是
- 7 言聖子善來善來聖子此汝宮殿我无⁹夫主
- 8 久離夫主独有童子我今色少妙色具足心
- 9 相供養乳若金瓶面如蓮華¹⁰開敷之色我身
- 10 猶如雲中電行端正可憇我是天女今相供
- 11 養奉給走使此戲樂処彼¹¹離邪¹²多俱枳陀邏
- 12 俱羅¹³婆迦多有枝心柔爽¹⁴可憇¹⁵而為莊嚴六
- 13 万天女娛樂此処今相娛樂奉給聖子余宮
- 14 殿処皆悉不空彼有琵琶鼓笛等樂種種音
- 15 声天敷莊嚴師子坐¹⁶処自然出生彼天既見
- 16 種種莊嚴妙好幡蓋如王受位坐師子坐¹⁷彼
- 17 天童子亦復如是坐師子坐¹⁸彼既坐已諸樂
- 18 器中出可愛声普一切箱¹⁹唱声說言世²⁰善衆
- 19 生於閻浮提造福德業而來生此天宮殿中
- 20 語天女言汝來汝來速近此処可為戲樂善
- 21 作歌²¹樂此天子此於人中作善根者此声

- 1 庠¹詳【大】
- 2 捷²健【大】 大正蔵に校注なし。
- 3 脰³髀【大】 大正蔵に校注なし。
- 4 短⁴断【大】
- 5 爪⁵瓜【大】
- 6 无⁶无【大】 大正蔵に校注なし。
- 7 无⁷无【大】 大正蔵に校注なし。
- 8 无⁸无【大】 大正蔵に校注なし。
- 9 无⁹无【大】 大正蔵に校注なし。
- 10 華¹⁰花【大】 大正蔵に校注なし。
- 11 彼¹¹波【大】 大正蔵に校注なし。
- 12 邪¹²耶【大】 大正蔵に校注なし。
- 13 羅¹³邏【大】
- 14 爽¹⁴軟【大】 大正蔵に校注なし。
- 15 憇¹⁵喜【大】 大正蔵に校注なし。
- 16 坐¹⁶座【大】 大正蔵に校注なし。
- 17 坐¹⁷座【大】 大正蔵に校注なし。
- 18 坐¹⁸座【大】 大正蔵に校注なし。
- 19 箱¹⁹相【大】 大正蔵に校注なし。
- 20 世²⁰此【大】 「箱」の中央に見せ消ち（朱点）あり、右傍に「相」（朱書）あり。

- 22 出已六万天女彼樹林中両手取**華**²³善香莊
- 23 嚴第一天衣名**顯**²³居羅彼衣輕**疏**²⁴勝上珠寶
- 24 以為脚釧釧有妙声如是婦女而来近之奉

(第二紙) T12p230c18~

- 1 給供養彼諸天女端正可憇猶如初月面如
- 2 **蓮華**²⁵其香猶如阿娑婆**華**²⁶如是婦女来近童
- 3 子作如是言如是聖子我以一切所須之物
- 4 供養供給隨彼所用此是童子自善根力和集
- 5 所得自福所撰於今在此受天欲樂如是大
- 6 仙彼天童子天女相隨**卅**²⁷二天歡喜園林衆
- 7 雜林中白衣石上有勝光明娑卑都林佉
- 8 羅佉囉陀陀羅迦池泉流水阿吒婆迦**好**²⁸色
- 9 **好華**²⁹波離**邪**³⁰多俱枳陀羅在如是等戲樂之
- 10 処第一涼樂彼**无**³¹有大力惡風彼**无**彼**无**
- 11 林中多有若干妙声衆鳥多有**天華**³²亦饒天
- 12 **菓**³³皆有妙香**毘瑠**³⁴璃珠**牟婆**³⁵羅珠及馬瑠等
- 13 種種宝珠以為燈明復有衆蜂及諸欲醉俱
- 14 翅羅等種種諸鳥有美妙声有他**養**³⁶鳥有金
- 15 翅鳥此鳥青咽以妙珠寶間錯其身**瑠**³⁷璃
- 16 (此十束) ³⁸長而嚴**好**³⁹有種種声娑陀離多美妙歌声
- 17 於彼林中有種種**華**⁴⁰雜色間錯莊嚴其地彼

21 舞**舞**【大】 大正蔵に校注なし。
 22 華**花**【大】 大正蔵に校注なし。
 23 顯**頭**【大】 大正蔵に校注なし。
 24 疏**疎**【大】 大正蔵に校注なし。
 25 華**花**【大】 大正蔵に校注なし。
 26 華**花**【大】 大正蔵に校注なし。
 27 卅**三十**【大】 大正蔵に校注なし。
 28 好**妙**【大】 大正蔵に校注なし。
 29 華**花**【大】 大正蔵に校注なし。
 30 邪**耶**【大】 大正蔵に校注なし。
 31 无**無**【大】 大正蔵に校注なし。
 32 華**花**【大】 大正蔵に校注なし。
 33 菓**果**【大】 大正蔵に校注なし。
 34 瑠**琉**【大】 大正蔵に校注なし。
 35 婆**娑**【大】 大正蔵に校注なし。
 36 養**眷**【大】 大正蔵に校注なし。
 37 瑠**琉**【大】 大正蔵に校注なし。
 38 (此十束) 〓 (口十佳十乃)【大】 大正蔵に校注なし。
 39 好**妙**【大】 大正蔵に校注なし。
 40 華**花**【大】 大正蔵に校注なし。

- 18 天童子在如是処受諸欲樂
- 19 復次大仙^卅二天宮殿地処有妙池水清冷
- 20 如月八分具足清而无^垢垢復有勝妙百葉蓮
- 21 華^華開敷鮮采其池岸边宝樹莊嚴^華華落在地
- 22 如是功德微妙之水天子天女於彼池中相隨
- 23 戲樂彼於戲処如心称意若須食者有種
- 24 種宝間錯^槃槃生随其所須皆悉具足食色香

(第二紙) T12p231a14~

- 1 白如芬^芬陀華^華拘物陀華^華如雪等色色香具足
- 2 天女斟張奉天童子食足安樂尋即清^清化離
- 3 辛洪苦三種食過如是食者天力无^上上名曰
- 4 藕^藕陀在彼盤^盤中揣而食之如業所得大仙当
- 5 知若人施時垢心布施得報亦爾同一盤^盤食
- 6 食揣色異有赤揣者有黃揣者有異揣者身
- 7 報^報一種成就一色而盤^盤中食異異不同如是
- 8 大仙若人施已心生悔熱彼業得報食色則
- 9 劣
- 10 復次大仙^卅二天有戲樂処彼処名為尸利
- 11 沙紺有種種樹枝華^華嚴好種種天樹百千和
- 12 合地処清淨猶如頗梨无^垢垢柔^軟軟復有天樹
- 13 華^華菓^菓具足如是処者非欲者住尸利沙迦清

41 卅^卅三十一【大】 大正蔵に校注なし。

42 无^无無【大】 大正蔵に校注なし。

43 華^華花【大】 大正蔵に校注なし。

44 華^華花【大】 大正蔵に校注なし。

45 「槃」の中央に見せ消ち(朱点)あり、右傍に「盤」(朱書)あり。盤

46 芬^芬君【大】

47 華^華花【大】 大正蔵に校注なし。

48 華^華花【大】 大正蔵に校注なし。

49 清^清消【大】

50 无^无無【大】 大正蔵に校注なし。

51 藕^藕蘇【大】 大正蔵に校注なし。

52 盤^盤槃【大】 大正蔵に校注なし。

53 盤^盤槃【大】 大正蔵に校注なし。

54 報^報服【大】

55 盤^盤槃【大】 大正蔵に校注なし。

56 卅^卅三十一【大】 大正蔵に校注なし。

57 華^華花【大】 大正蔵に校注なし。

58 无^无無【大】 大正蔵に校注なし。

59 粟^粟軟【大】 大正蔵に校注なし。

60 華^華花【大】 大正蔵に校注なし。

- 14 淨之処天女不住如是勝妙尸利沙紺戲樂
- 15 之処一切樹林常有**好華**⁸³如是**華**⁸³林常有諸
- 16 天在下語說大仙当知我之所有声聞之人
- 17 諸弟子中最為勝者所謂長老伽婆波帝於
- 18 婆羅門種姓中生遊心禅思慈心悲心三昧
- 19 眼開住慈三昧於七日中息不出入大仙当
- 20 知彼時既入慈三昧已心若須風則有風吹
- 21 若其不須則**无**⁸²風吹劫盡燒時地為**一**⁸²焰彼
- 22 身乃至如**芬**⁸⁵子許亦不能燒若須**彌山隨**⁸³其
- 23 身分於節節上即**余**⁸²留住不能令**重**⁸²若復難
- 24 陀憂波難陀二惡龍王毒力熾盛彼惡力毒

(第四紙) T12p231b09~

- 1 若以氣嘘能動須弥如是毒力四大海水能
- 2 令味鹹大仙当知如是大力惡毒龍王伽婆
- 3 波帝三昧力故能令**无**⁸¹毒又復大仙彼時長
- 4 老伽婆波帝尸梨沙紺戲樂処行彼諸天女染
- 5 欲心強或因遊戲至於彼処若見長老伽婆
- 6 波帝生愛信心能以天中曼陀羅**華**⁸¹居世賒
- 7 迦如是等**華**⁸³散而供養合掌礼敬又復彼
- 8 処**卅**⁸²二天諸天子等圍遶供養如是長老伽
- 9 婆波帝奉以天飯天甘露汁施令飽足於日
- 10 日中如是供養伽婆波帝於彼林処樹枝搖
- 11 動深処遊行為彼天子**敷**⁷⁴演**伽陀**⁷⁵憂陀那尼
- 12 陀那伊帝毘利多迦闍多迦裴不略阿浮多

- 61 菓**||**果【大】 大正蔵に校注なし。
- 62 華**||**花【大】 大正蔵に校注なし。
- 63 華**||**花【大】 大正蔵に校注なし。
- 64 无**||**無【大】 大正蔵に校注なし。
- 65 二**||**一【大】 大正蔵に校注なし。
- 66 芬**||**芥【大】 大正蔵に校注なし。
- 67 隨**||**墮【大】 大正蔵に校注なし。
- 68 余**||**令【大】 大正蔵に校注なし。
- 69 重**||**動【大】 大正蔵に校注なし。
- 70 无**||**無【大】 大正蔵に校注なし。
- 71 華**||**花【大】 大正蔵に校注なし。
- 72 華**||**花【大】 大正蔵に校注なし。
- 73 卅**||**三十【大】 大正蔵に校注なし。
- 74 敷**||**数【大】 大正蔵に校注なし。
- 75 陀**||**他【大】 大正蔵に校注なし。

- 13 達摩毘尼脩⁸⁵多羅憂波提舍阿波提舍令彼
- 14 天子聞已生信心喜悅樂故在彼処天妙宮
- 15 殿坐禪誦誦遊行止住亦復遊彼尸梨妙⁸¹迦
- 16 戲樂之処
- 17 復次大仙卅⁸²二天有善法堂天衆集処大仙
- 18 当知善法堂柱八万四千彼柱皆是金宝金
- 19 剛若牟娑羅及迦羅婆若碼⁸²瑠等勝梅檀椽
- 20 並比在上鈴鬘妙声金沙覆地大仙当知彼
- 21 善法堂垂天繪幡豎立宝幢懸幡在上復有
- 22 樂声琵琶箏笛大鼓小鼓拍手吹貝簫嘯美
- 23 音天子天女手如妙華⁸⁰柔栗⁸¹之状如樹枝心
- 24 迭相執手心生愛喜口常含咲⁸²彼天童子彼

(第五紙) T12p231c04~

- 1 天婦女如是受樂大仙当知彼善法堂多天
- 2 集処種種珠寶間錯其地彼地青膩如毘瑠⁸³
- 3 璃滑而无⁸⁴垢猶如淨鏡多饒天華⁸⁵種種香末
- 4 遠離風日青虫蚊虻⁸⁶如是等過无⁸⁷有眼⁸⁸睡懈
- 5 怠頻申彼善法堂樂觸風窓重樓屋壁種種
- 6 莊嚴間錯之文形如半月状似牛眼天網慢⁸⁹
- 7 覆鴉尾妙門寬大広博有樂觸風宝鬘莊嚴
- 8 遍散妙華⁹⁰善香馨馥多饒无⁹¹量百千天女欲
- 9 心戲咲⁹²无⁹³有嫉心鬪諍等過迭相染欲愛心

⁷⁶脩⁷⁷修【大】 大正蔵に校注なし。

⁷⁷妙⁷⁸沙【大】 大正蔵に校注なし。

⁷⁸卅⁷⁹三十【大】 大正蔵に校注なし。

⁷⁹碼⁸⁰馬【大】 大正蔵に校注なし。

⁸⁰華⁸¹花【大】 大正蔵に校注なし。

⁸¹栗⁸²軟【大】 大正蔵に校注なし。

⁸²咲⁸³笑【大】 大正蔵に校注なし。

⁸³瑠⁸⁴琉【大】 大正蔵に校注なし。

⁸⁴无⁸⁵無【大】 大正蔵に校注なし。

⁸⁵華⁸⁶花【大】 大正蔵に校注なし。

⁸⁶虻⁸⁷虻【大】 大正蔵に校注なし。

⁸⁷无⁸⁸無【大】 大正蔵に校注なし。

⁸⁸眼⁸⁹眠【大】 大正蔵に校注なし。

⁸⁹慢⁹⁰縵【大】 大正蔵に校注なし。

⁹⁰華⁹¹花【大】 大正蔵に校注なし。

⁹¹无⁹²無【大】 大正蔵に校注なし。

⁹²咲⁹³笑【大】 大正蔵に校注なし。

⁹³无⁹⁴無【大】 大正蔵に校注なし。

- 10 堅固類淨91垢如月鏡輪天女之法以香采95
- 11 色用点類額以莊嚴面天女詠95声共相娛樂
- 12 大仙当知彼善法堂四方四角四97箱97寬博多
- 13 有樹林邃密雲閣有種種華98戲樂之処如是
- 14 樹林広由旬分分処処種種端嚴有金蓮
- 15 華98復有散華100遍布其地復有種種微妙歌声
- 16 有種種樹其樹名為居迦那陀波利邪101多拘
- 17 毘陀羅如是等樹処処多有以為莊嚴
- 18 復次大仙彼善法堂一切所須金宝金剛若
- 19 牟娑羅及迦羅婆復有日102珠毘瑠103璃等各有
- 20 大聚无104主无105護多饒財物金宝之藏彼一切
- 21 物一切宝聚皆悉莊嚴善法堂処彼諸宝聚
- 22 有種種色以為莊嚴彼善法堂周圍復有百
- 23 千戲処以為莊嚴无106熱无107惱種種衣服嚴飾
- 24 其処復次大仙卅108二天於戲樂処意109戲樂行

(第六紙) T12p231c29~

- 1 一切皆来集善法堂娛樂喜樂
- 2 復次大仙三十三天善見宮殿淨如月鏡多
- 3 有香華109垂鬢莊嚴有千天女嚴飾微妙遊戲
- 4 娛樂媚眼眄視奮動眉面猶如乱波行虚空
- 5 中以種種華111莊嚴其身善見宮殿莊嚴如是
- 6 多有珠瓶在宮殿中鈴網簾障出微如112声以

94 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 95 采||綵【大】
 96 詠||咏【大】
 97 箱||箱【大】
 98 華||花【大】 大正蔵に校注なし。
 99 華||花【大】 大正蔵に校注なし。
 100 華||花【大】 大正蔵に校注なし。
 101 邪||耶【大】 大正蔵に校注なし。
 102 日||白【大】
 103 瑠||琉【大】 大正蔵に校注なし。
 104 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 105 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 106 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 107 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 108 卅||三十【大】 大正蔵に校注なし。
 109 憲||喜【大】 大正蔵に校注なし。
 110 華||花【大】 大正蔵に校注なし。
 111 華||花【大】 大正蔵に校注なし。
 112 如||妙【大】

- 7 為莊嚴若馬若象行在宮殿脚足傷地則起
 8 金塵彼処多有端正天女身着宝珠赤色光
 9 明若鳴若抱若捉衣裳令彼戲処珠勝奇妙
 10 復次大仙善見宮殿有六万柱彼柱皆是天
 11 妙金宝以毘瑠璃¹¹³及金剛宝為柱¹¹⁴顯開¹¹⁵種種
 12 雜宝間錯其柱彼宮殿中汁香葉香沈水等
 13 香種種香薰¹¹⁶復有種種善香勝薰¹¹⁷帝釈天王
 14 在彼勝処百千天女之所圍繞帝釈王手執
 15 金剛身¹¹⁸在宝殿上娛樂戲樂
 16 復次大仙卅¹¹⁹三天因陀羅王九千龍力帝釈
 17 王臂如天象手身色如金鮮淨无¹²⁰垢形体平
 18 正身中則細上下分僂骨節不現体実不虛
 19 髮毛旋動清淨无¹²¹垢身有光明衣則舒長如¹²²
 20 因陀羅所作釈論能破諍論多有无¹²³量百千
 21 天子常随親近天林宮殿及遊戯処随逐遊
 22 行金繩絡身天妙纓絡¹²⁴若半纓絡¹²⁵莊嚴其匈¹²⁶
 23 其身勝妙不細不僂中腰則細二髀¹²⁷平等常
 24 以白飯甘露汁食百千天女目鬢視之肩頰

(第七紙) T12p232a25~

- 1 端正彼有醉象耳扇生風風声美妙
 2 復次大仙彼大天王因陀羅主身脈不現香
 3 氣勝妙如善華香彼大天王¹²⁸美音声大仙
 4 当知彼大天王自身善香若天白象欲發極
 5 醉聞王身香即時¹²⁹惺¹³⁰解

- 113 瑠璃¹¹³ 大正蔵に校注なし。
 114 顯開¹¹⁴ 大正蔵に校注なし。
 115 薰¹¹⁵ 大正蔵に校注なし。
 116 薰¹¹⁶ 大正蔵に校注なし。
 117 身¹¹⁷ 大正蔵に校注なし。
 118 卅¹¹⁸ 大正蔵に校注なし。
 119 无¹¹⁹ 大正蔵に校注なし。
 120 无¹²⁰ 大正蔵に校注なし。
 121 如¹²¹ 大正蔵に校注なし。
 122 无¹²² 大正蔵に校注なし。
 123 纓絡¹²³ 大正蔵の校注には「瓔珞¹²³」とある。
 124 纓絡¹²⁴ 大正蔵に校注なし。
 125 匈¹²⁵ 大正蔵に校注なし。
 126 大正蔵の校注の内容(髀¹²⁶ 脾¹²⁶)が正確ではない。
 127 栗¹²⁷ 大正蔵に校注なし。
 128 惺¹²⁸ 大正蔵に校注なし。
 129 惺¹²⁹ 大正蔵に校注なし。
 130 解¹³⁰ 大正蔵に校注なし。

- 6 復次大仙因陀羅王身量高下与余諸天乘
- 7 馬之量高下平等因陀羅王身色勝妙見王
- 8 身者金像不現
- 9 爾時毘邪¹²⁹娑大仙白仏言世尊希有世尊彼
- 10 帝釈王大因陀羅甚為勝妙実如世尊聖法
- 11 具足所説不異仏言大仙汝以何義如是美
- 12 歎此无¹³⁰常身大因陀羅而言希有心生驚怪
- 13 譬如伎兒巧以泥団造作種種人畜等形又
- 14 縛葉等挿華在外以諸采¹³¹色画為軍衆木
- 15 為機関采¹³²画彫飾如採¹³³生華¹³⁴画飾莊嚴不過少
- 16 時華¹³⁵則萎蔦¹³⁶如以燈炷置於爐中以火烧之
- 17 則有光明帝釈王身亦復如是大仙当知阿
- 18 泥楼大父母所生其身力大大仙当知因陀
- 19 羅王所有身力阿泥楼大父母所生身力為
- 20 大
- 21 復次大仙汝今且觀阿泥楼大神通身力如
- 22 是説時阿泥楼大心即憶念如来加我如是
- 23 念已即入三昧入三昧已身如金色即有天
- 24 王新勝金冠如洋金色在其頭上実¹³⁷珠垂下

(第八紙) T12p232b19~

- 1 傍面連肩動揺相摩珠髻青髮身体色潤有
- 2 勝光明目如天上勝毘瑠璃¹³⁸璃其色紺青復有
- 3 珠宝牟娑羅宝迦羅婆宝日珠等宝莊嚴身
- 4 臂彼以化力令身如是復出天香遍諸大衆
- 5 一切普薰¹³⁹彼毘邪¹⁴⁰娑見其身已心則變動從
- 6 座而起合掌恭敬生希有心高声唱言子子

- 129 邪¹²⁹耶【大】 大正蔵に校注なし。
- 130 无¹³⁰無【大】 大正蔵に校注なし。
- 131 采¹³¹彩【大】 大正蔵の校注には「彩¹³¹采¹³¹〔聖〕*」とある。
- 132 采¹³²彩【大】
- 133 採¹³³樹【大】
- 134 華¹³⁴花【大】 大正蔵に校注なし。
- 135 華¹³⁵花【大】 大正蔵に校注なし。
- 136 蔦¹³⁶蔦【大】 大正蔵に校注なし。
- 137 実¹³⁷宝【大】 大正蔵に校注なし。
- 138 瑠¹³⁸琉【大】 大正蔵に校注なし。
- 139 薰¹³⁹熏【大】 大正蔵に校注なし。
- 140 邪¹⁴⁰耶【大】 大正蔵に校注なし。

- 7 善哉何期¹¹⁵。快哉我得人身有果不空我於今
- 8 者到如来所如来今者作一切智相応語説
- 9 令我今者得見如是未曾有法
- 10 爾時世尊語毘邪¹¹⁶。娑大仙人言汝意云何若
- 11 因陀羅帝釈王身阿泥楼大長老之身如是
- 12 二身何者為勝爾時毘邪¹¹⁷。娑大仙白仏言世
- 13 尊因陀羅王身¹¹⁸。阿泥楼大身百分之中不及
- 14 其一於千分中亦不及一阿泥楼大身色具
- 15 足如来語言如是大仙勿生歡喜以作福德
- 16 発如是願故得彼身
- 17 爾時大仙毘邪¹¹⁹。娑衆歡喜心開白仏言世尊
- 18 唯願世尊更為我說卅¹²⁰。二天仏言大仙卅¹²¹。二
- 19 天帝釈天王第一天后名曰舎支百千天女
- 20 住歡喜林有種種華¹²²。開発光明集在其身頰
- 21 如蓮華¹²³。脣色猶如金頻婆菓¹²⁴。第一光明微細
- 22 衣服林間戲処安行遨遊以天莊嚴善莊嚴
- 23 耳宝釧天軻¹²⁵。莊嚴手臂以好纓絡¹²⁶。及半纓絡¹²⁷
- 24 莊嚴其身脚着宝釧釧有妙声種種音楽歡

(第九紙) T12p232c15~

- 1 喜林中如是遊行類分寛博妙華¹²⁸。散地在 上
- 2 而行齋¹²⁹。下陰上有細毛交¹³⁰。妙¹³¹。宝跨衣行則声
- 3 出目青而寛開而有媚髮青長黒一一毛旋
- 4 鼻隆而直遠離瞋嫉鬪諍等過瞋怒皺面波

- 141 期=何【大】
- 142 邪=耶【大】 大正蔵に校注なし。
- 143 邪=耶【大】 大正蔵に校注なし。
- 144 【比】+【大】
- 145 邪=耶【大】 大正蔵に校注なし。
- 146 卅=三十【大】 大正蔵に校注なし。
- 147 卅=三十【大】 大正蔵に校注なし。
- 148 華=花【大】 大正蔵に校注なし。
- 149 華=花【大】 大正蔵に校注なし。
- 150 菓=果【大】 大正蔵に校注なし。
- 151 軻=珂【大】
- 152 纓絡=瓔珞【大】
- 153 纓絡=瓔珞【大】
- 154 華=花【大】 大正蔵に校注なし。
- 155 齋=臍【大】
- 156 交=文【大】
- 157 妙=沙【大】 大正蔵に校注なし。

- 5 奮動乱皆悉遠離身无¹⁵⁸藏過大仙当知舍支
- 6 天后有喜欲力勝弥楼山第一勝処彼処広
- 7 長多有樹林其樹饒枝映障之処心生愛樂
- 8 微風吹華¹⁵⁹動散出香復觸其身舍支身形不
- 9 長不短不僂不細其面嚴好如開蓮華¹⁶⁰口出
- 10 妙香善巧語說增長仏種大仙当知卅¹⁶¹三天
- 11 一切天衆身体皆香无¹⁶²有病患於遊戯処若
- 12 於宮殿如是遊行
- 13 復次大仙卅¹⁶³三天壽命千歲彼天彼処如是
- 14 行已至命盡時彼天宮殿本未曾有五種相
- 15 出応如是知何等為五池¹⁶⁴有清水猶如頗梨
- 16 冷而有文有樂觸風彼処多有種種枝華¹⁶⁵既
- 17 入池已油膩汗出既見如是油膩汗已心生
- 18 疑慮即便出水走向樹林彼既速行天女見
- 19 之順後急行与相隨既到一樹即便住坐
- 20 既坐住166已天女憂悲發声歎息咽中声破如
- 21 是問言聖子今者何故捨我独在樹下此有
- 22 何樂如是説已彼天童子以憂歎声語天女
- 23 言我頭額上従本以来未有膩出如是説已
- 24 於両腋下即有汗出而彼天女見汗出已捨

(第十紙) T12p233a10~

- 1 離遠去彼見天女遠離身已心生憂懼出入
- 2 気僂気僂出已其心発熱心既熱故頭上妙¹⁶⁷
- 3 鬢本未曾萎今者則萎¹⁶⁸鬢既萎¹⁶⁹已衣未曾垢
- 4 今則垢出天敷臥処不樂不樂
- 5 彼諸天女見如是相心即思念此天童子死

¹⁵⁸ 无||無【大】 大正蔵に校注なし。

¹⁵⁹ 華||花【大】 大正蔵に校注なし。

¹⁶⁰ 華||花【大】 大正蔵に校注なし。

¹⁶¹ 卅||三十【大】 大正蔵に校注なし。

¹⁶² 无||無【大】 大正蔵に校注なし。

¹⁶³ 卅||三十【大】 大正蔵に校注なし。

¹⁶⁴ 池||地【大】

¹⁶⁵ 華||花【大】 大正蔵に校注なし。

¹⁶⁶ 坐住||住坐【大】

¹⁶⁷ 妙||沙【大】 大正蔵に校注なし。

¹⁶⁸ 萎||萎【大】 大正蔵の校注には「萎||萎〈聖*〉とある。

¹⁶⁹ 萎||萎【大】

6 相已出將欲破壞知其必死聞其氣臭不可
 7 堪耐即爾遠之圍遶而住以聞其臭憐愍悲
 8 歎咽喉声破口不能止¹¹²作如是言何期第一
 9 柔¹¹³身天在戲樂処林中行者此三天処如
 10 是池水有鴛鴦鳥善法堂処歛喜之林鵝王
 11 鴛鴦曼陀耆泥池水香潔多有樹林樹名象
 12 塵波利¹¹⁴邪¹¹⁵多俱耆多羅在彼戲処多有蜜蜂
 13 在雜林中以為莊嚴常此処行今忽捨我去
 14 向何処五相既現壞破欲去彼諸天女如是
 15 啼哭復更啼哭彼見啼哭心則破壞生大怖
 16 畏其身癆熱眼目乱視如行道路失伴之人
 17 亦如商人海行船没亦如遺失如意珠者心
 18 懊¹¹⁶擗¹¹⁷地¹¹⁸如大力風能墮山角¹¹⁹无¹²⁰常大風令天
 19 子墮亦復如是彼身極熱在地旋轉如伽樓
 20 羅所捉龍子生大怖畏拳身戰動両手合掌
 21 向天女言我今患熱汝来汝来可以手掌摩
 22 我令冷如是心急身熱欲然如是身心俱受
 23 苦惱
 24 彼諸天女憂悲燒心住在遠処心生憐愍憂

(第十一紙) T12p233b05~

1 悲苦惱身不能近不摩不觸於樹林中取枝
 2 華¹¹⁹葉舒手遥置天子心上作如是言童子今
 3 者天福德盡願汝速生閻浮提処彼天聞已
 4 知必定死高声唱言何期苦哉何期苦哉此
 5 ¹²⁰三天処乃是惡処如是種種具足莊嚴戲樂
 6 之処第一宮殿受諸戲樂多有天女種種愛
 7 染繫縛心已忽於今者趣於死道住在遠処
 8 如是説言願汝死已生閻浮提彼天如是歎
 9 思惟已聞彼語已拳身欲起極生悲苦啼哭
 10 而言何期苦哉歛喜樹林種雜樹林白衣石

¹²⁰ 止 || 正 【大】

¹²¹ 粟 || 軟 【大】 大正蔵に校注なし。

¹²² 邪 || 耶 【大】 大正蔵に校注なし。

¹²³ 懊擗地 || 懊惱壁地 【大】 大正蔵の校注の内容 (懊惱壁地 || 懊擗地 (聖)) が正確ではない。

¹²⁴ 无 || 無 【大】 大正蔵に校注なし。

¹²⁵ 華 || 花 【大】 大正蔵に校注なし。

¹²⁶ (三十) + 【大】

- 11 掌¹⁷⁷遊戲坐処何期¹⁷⁸善法波¹⁷⁹留沙迦波利邪¹⁸⁰多
- 12 此毘婆闍曼陀耆尼大波流沙迦如是宮殿
- 13 第一宮殿堅固門扇一切和集我今忽捨此
- 14 天宮殿不得自在而便退此卅¹⁸¹三天命欲盡
- 15 故於自宮殿不能復見唯見天女低面向下
- 16 以手拭眼引氣破面
- 17 彼欲退天復作¹⁸²是言我於今者欲行死道何
- 18 期汝等是¹⁸³我所愛不共我語我今欲行生死
- 19 長道愛人可來急抱我咽我從今已不復見
- 20 汝汝亦如是不復見我如是天処何期甚惡
- 21 業果盡已闍无¹⁸⁴所見云何此処卅¹⁸⁵三天欲退
- 22 之時皆悉空耶云何此処卅¹⁸⁶三天岂无¹⁸⁷琴樂
- 23 拍手等邪¹⁸⁸而我今者不復聞声何期此処卅¹⁸⁹
- 24 三天第一可愛天軋¹⁹⁰闍婆天色莊嚴金剛堅

(第十一紙) T12p233b29~

- 1 地如是千眼帝釈天王復有何等福德衆生
- 2 和集往彼而得見邪¹⁹¹波利邪¹⁹²多俱枳陀羅諸
- 3 樹華¹⁹³鬘在我頭上何期萎薦¹⁹⁴彼欲退天如是
- 4 号喚卅¹⁹⁵三天聞彼声已一切愁憂取種種華¹⁹⁶
- 5 以自莊嚴清淨鬚髮帝釈天王百千天衆而
- 6 為圍遶天后舍支天女圍遶那羅達離支多

- 177 掌^上【大】
- 178 期^其【大】
- 179 波^彼【大】
- 180 邪^耶【大】 大正蔵に校注なし。
- 181 卅^{三十}【大】 大正蔵に校注なし。
- 182 〔如〕+〔大〕
- 183 是^退【大】
- 184 无^無【大】 大正蔵に校注なし。
- 185 卅^{三十}【大】 大正蔵に校注なし。
- 186 卅^{三十}【大】 大正蔵に校注なし。
- 187 无^無【大】 大正蔵に校注なし。
- 188 邪^耶【大】 大正蔵に校注なし。
- 189 卅^{三十}【大】 大正蔵に校注なし。
- 190 軋^乾【大】 大正蔵に校注なし。
- 191 邪^耶【大】 大正蔵に校注なし。
- 192 邪^耶【大】 大正蔵に校注なし。
- 193 華^花【大】 大正蔵に校注なし。
- 194 薦^薦【大】 大正蔵に校注なし。
- 195 卅^{三十}【大】 大正蔵に校注なし。
- 196 華^花【大】 大正蔵に校注なし。

- 7 伽大般遮尸棄敦扶盧等天¹⁹⁷ 闍婆天樂歌
- 8 声美妙音声而来向彼欲趣死道五相出者
- 9 既近見已一切如是生憐愍心同声唱言何
- 10 期苦哉此惡¹⁹⁸ 常¹⁹⁹ 有悲心
- 11 帝釈天王見彼如是欲退天已梵声説言我
- 12 等一切法皆如是莫生愛着当断愛心若不
- 13 断愛則生惡道諸余天子亦復如是一切同
- 14 声如是説言君善道去生於人中一切衆生
- 15 造²⁰⁰ 業之地
- 16 如是説已彼欲退天心即念言我今寔退即
- 17 時合掌向彼天衆如是説言^卅 三天一切天
- 18 子唯願忍我我退時至彼時天子引氣直視
- 19 有二相出蓮^華 葉眼一切莊嚴皆悉失没
- 20 彼諸天子見欲退天離莊嚴已取曼羅婆居
- 21 世舍^邪 居迦那大如是等^華 遙散其身即作
- 22 天樂琵琶鼓笛種種音声而以樂之彼見如
- 23 是供養身已雖退天处心生歡喜於閻浮提
- 24 心生恹望眼中淚出其声則^匳 時業法集相

(第十一紙) T12p233c25~

- 1 応盡命盡死已伽阿那風吹彼死天彼
- 2 風善香吹之令散如是散已即時遠離^卅
- 3 三天不知所在^无 有处所不能生他若想
- 4 若知
- 5 彼既退已生於人間在胎藏中母則相現意
- 6 咲^歌 舞^舞 心^心 意^意 染^染 欲^欲 心^心 常^常 歡^歡 喜^喜 意^意 樂^樂 ^{華菓} ^{樹林}

- 197 軋^軋 乾^乾 【大】 大正蔵に校注なし。
- 198 无^无 無^無 【大】 大正蔵に校注なし。
- 199 无^无 無^無 【大】 大正蔵に校注なし。
- 200 【善】 + 【大】
- 201 卅^卅 三十^{三十} 【大】 大正蔵に校注なし。
- 202 華^華 花^花 【大】 大正蔵に校注なし。
- 203 邪^邪 耶^耶 【大】 大正蔵に校注なし。
- 204 華^華 花^花 【大】 大正蔵に校注なし。
- 205 【有因】 + 【大】
- 206 卅^卅 三十^{三十} 【大】 大正蔵に校注なし。
- 207 无^无 無^無 【大】 大正蔵に校注なし。
- 208 咲^咲 笑^笑 【大】 大正蔵に校注なし。
- 209 舞^舞 舞^舞 【大】 大正蔵に校注なし。
- 210 華^華 菓^菓 花^花 果^果 【大】 大正蔵に校注なし。

- 7 之処樂着種種雜色衣服常熹飲食雖住藏
- 8 内母脇不苦不樂邪欲心喜善香華²¹¹鬢莊嚴
- 9 臥則善夢非顛倒見大仙当知卅²¹²三天退生
- 10 此時住母藏中有如是相
- 11 大仙当知其母爾時一切藏過皆悉遠離後
- 12 則出生大仙当知彼時童子既出生已身分
- 13 平正掌文成就可熹柔²¹³腰細齒蜜身体柔
- 14 奕²¹⁴其心愛樂勝功德欲性愛欲事心愛細衣
- 15 樂林戲処身有勝香大富豐財金宝贝足大
- 16 姓種族常行施戒欲心多者則生貧家心熹
- 17 布施不黑不白手足齊平一切見者皆悉愛
- 18 敬性愛論義其心柔²¹⁵少於瞋心樂行他妻
- 19 於自妻妾不生愛樂於諸親旧兄弟眷属心
- 20 不愛恋大仙当知卅²¹⁶三天退生人中本性如
- 21 是
- 22 世尊説已毘邪²¹⁷娑仙一切仙衆心生歡喜歎
- 23 言善哉
- 24

(第十四紙) T12p234a17~

- 1 毘邪²¹⁸娑問經卷下²¹⁹
- 2
- 3 皇后藤原氏光明子奉為
- 4 尊孝贈正一位太政大臣府君尊妣贈
- 5 從一位橘氏大夫人敬写一切經論及
- 6 律莊嚴既了伏願憑斯勝因奉資冥
- 7 助永庇菩提之樹長遊般若之津又
- 8 願上奉 聖朝恒延福寿下及寮
- 9 采共盡忠節又光明子自發誓言弘

211 華=花【大】 大正藏に校注なし。
 212 卅=三十【大】 大正藏に校注なし。
 213 奕=軟【大】 大正藏に校注なし。
 214 奕=軟【大】 大正藏に校注なし。
 215 奕=軟【大】 大正藏に校注なし。
 216 卅=三十【大】 大正藏に校注なし。
 217 邪=耶【大】 大正藏に校注なし。
 218 邪=耶【大】 大正藏に校注なし。
 219 尾題部分に薄く印記あり？

10 濟沈淪勤除煩障妙窮諸法早契菩
11 提乃至伝灯無窮流布天下聞名持
12 卷獲福消災一切迷方会帰覺路

天平十二年五月一日記

22 (後補軸付紙)

大正七年十月修理之

帝室博物館總長 (医学博士 / 文学博士) 森林太郎 (花押)

董事 奈良帝室博物館長久保田鼎 (花押)